

27年度統合に向け交流

青西文化祭で浪岡高展示

青森市の青森西高校（岡一仁校長）は2027年度の浪岡高校（岩井友之校長）との統合に向け、11、12の両日開いている青森西高の文化祭に浪岡高の展示ブースを設けている。両校の交流事業は初めて。初日の11日は浪岡高の生徒3人が青森西高を訪れ、同校の生徒たちに浪岡高の名物・空き缶壁画について説明するなどして親睦を深めた。

（兼平昌寛）



空き缶に針金を通す作業を体験する青森西高生（左側2人）にアドバイスする浪岡高生

青森西高のホールには、浪岡高が1990年度から行ってきた空き缶壁画の写真35枚を展示。空き缶壁画の規模が分かるように空き缶の一部を会場に並べた。ほかに、浪岡高の記念誌や写真部、美術部などの作品を飾ったり、授業や学校案内の動画を流したりした。11日は、青森西高を訪れた浪岡高の2年生3人が、青森西高生に日頃の活動を紹介したり、針金に空き缶を通す作業を体験してもらった。

浪岡高2年の泉終愛さんは「校舎の雰囲気など、新鮮に感じた。青森西高は人数なので怖いイメージが

あったが、実際に来たら明るく、フレンドリーだった」、青森西高3年の田辺友菜生徒会長は「お互いの学校の文化について知るいい機会になった。空き缶壁画の質の高さに驚いた。可能であれば、引き継いでいければ」と話した。

今後も青森西高の活動に浪岡高生が参加するほか、青森西高生も10月の浪岡高生の文化祭に参加し、展示ブースを設ける。

「東奥日報社提供」

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。